



テクニカル レポート201:

ベースプレートとガスケット

清掃および消毒法

Document: Baseplate Cleaning Tech Report, Rev 1.0

05-14-2009

Culturing Cells in a Mechanically Active Environment™
Flexcell International Corporation • 437 Dimmocks Mill Road, Suite 28 • Hillsborough, NC 27278
800-728-3714 • (919) 732-1591 • FAX: (919) 732-5196 • www.flexcellint.com

COPYRIGHT © 2009 FLEXCELL® INTERNATIONAL CORPORATION



清掃

黒色のウレタン製ベースプレートは、高温や熱湯で歪みを起こすため、オートクレーブにかけたり、洗浄機で洗わないでください。同様に、赤色のラバー製ガスケットにも高温のかかるオートクレーブや洗浄機を使わないでください。ベースプレートとガスケットは、通常の実験室用洗剤で洗い、温水水道水でリンスし、蒸留水あるいは脱イオン水を通してから自然乾燥させます。ベースプレートは乾かして平らな表面に保管します。また、赤色のガスケットは引っ張られて伸びる可能性があるため、乾かすにも吊り下げないようにします。ベースプレート、ガスケットとも、紫外線露出を避けてください。

消毒

消毒には、マイルドな漂白剤(クロロックス“Clorox”や洗濯用漂白剤など市販の漂白液は、普通5.25%次亜塩素酸ナトリウムです)の水溶液(1:500、漂白剤対水)、または、1%ベンザルコニウムクロライド(benzalkonium chloride)溶液を用いてください。ベースプレートとガスケット面にこれをスプレーするか、注ぐか、これで拭くかして、表面で少なくとも5分間作用させた後、蒸留水あるいは脱イオン水でリンスしてください。上記溶液は、酵母菌(イースト)および真菌類(カビ)に対しても効き目があります。また、70%エタノール溶液を適用することもでき、適用後自然乾燥させます(拭き取らないで乾燥)。ベースプレートに付いているチューブに70%エタノールを流すこともできますが、Flexcell® Tension Systemに接続する前に、完全に乾燥していることを確認してください。これらの溶液の消毒作用の有効性には、その接触時間(表面が濡れている時間)がきわめて重要です。指示されている時間は最小限で、コンタミネーションのひどい場合は接触時間を延ばすことをお勧めします。

毎回ベースプレートとガスケットの使用前後、あるいは表面にメデュームがこぼれた際はその都度上述のコンタミネーション除去手順を実行してください。使用する前に、ベースプレートにある開孔部と回路が乾燥し閉塞のないことを確認してください。

保管

インキュベーターはその温かい、湿気のある条件が微生物類の生育を促進するため、ベースプレートとガスケットはインキュベーター内に保存しないでください。清掃消毒後、ベースプレートとガスケットはプラスチックの袋に密封します。ベースプレートは平らに保存し、ゆがみの起こらないようその底面全体が支持されていることを確かめます。ガスケットは紫外線露出を避けて保存します。